

## 第2回 新任教員セミナー

国際文化学研究科の新任教員の研究内容を紹介・発信し、学部や大学院での学術交流を促進することを目的に開催するセミナーシリーズです。

第2回は歴史人類学・東南アジア研究と哲学・科学史をご専門とされるお二人にご発表いただきます。

日時：2021年11月30日（火）17：00～18：30

場所：オンライン開催（Zoom） ※日程が変更になりました

講師：下條尚志（国際文化学研究科准教授）

「国家の『余白』—メコンデルタ 生き残りの社会史」

田中祐理子（国際文化学研究科准教授）

「原子と病原菌—科学的認識と哲学史」

司会・コメンテーター：齋藤剛（国際文化学研究科教授）

コメンテーター：市田良彦（国際文化学研究科教授）

申込方法：専用フォーム [bit.ly/promis1126](https://bit.ly/promis1126)

※開催日までにオンライントークにアクセスするためのURLを送付いたします。



### 講師略歴

#### 下條尚志

1984年生まれ。京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科博士課程修了。静岡県立大学大学院国際関係学研究科助教を経て、現職。主な業績として『戦争と難民—メコンデルタ多民族社会のオーラル・ヒストリー』（風響社、2016）、『国家の「余白」—メコンデルタ 生き残りの社会史』（京都大学学術出版会、2021）などがある。

#### 田中祐理子

1973年生まれ。東京大学大学院・総合文化研究科博士課程単位取得退学。京都大学人文科学研究所助教・白眉センター准教授を経て、現職。著書に『科学と表象—「病原菌」の歴史』（名古屋大学出版会、2013）、『病む、生きる、身体の歴史』（青土社、2019）がある。

